

社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業「アートの活用形？」

こども 熱帯 音楽祭

出演

大阪市立大空小学校の有志＋梅田哲也
大阪市立堀江小学校の有志＋PIKA☆

2015年8月29日(土)

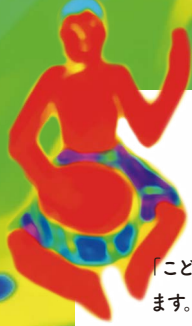
15:00-16:30(開場 14:30)

会場：大阪市立大学田中記念館 料金：無料

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

こどもとアーティストがつくる「熱くて」「クール」な音楽祭!

関西を代表するアーティスト2名が各小学校に出向いて、夏休み期間中にワークショップを実施してきました。その中で、アーティストがこどもたちの個性を引き出し、アイデアを共有しながら、共に作り上げてきた音楽は限りなく創造的で刺激的。その創意工夫の成果としての作品を発表します。



こども熱帯音楽祭とは？

「こども熱帯音楽祭」はジャワ島中部大地震(2006年)のあと、2009年にインドネシアで生まれた「こども創造音楽祭」が源流になっています。小学校の校舎や楽器がつぶれてしまったなかで、子どもたちは音楽を学ぶ学生とともに、身の回りの素材を使って新しい音楽を創り出していきました。それは同時に、子どもたちの臨機応変で即興的な精神を育てていったのです。東日本大震災を経験し、さらなる大災害が起こる可能性をもつ日本/大阪でも、突発的な災害や困難な課題に直面したときに、事態を創造的に解決できる当事者能力を育てることが重要です。そういう観点から「こども創造音楽祭」を受け継いで、2012年に大阪で「こども熱帯音楽祭」が始まったのです。

2012年には4名のアーティストが大阪市内の小学校など4ヶ所でワークショップを行い、創作した4作品を合同で発表するコンサートを開催し、2013年は神戸にて、2014年は大阪にて、毎年継続して実施してきました。

今年は、梅田哲也とPIKA☆の2名が大阪市内の2つの小学校でワークショップを行い、子どもたちの「遊び」や「動き」「偶発の思いつき」から様々なアイデアを受け取り、未知なる音の世界をともに創造していきます。

参加アーティスト



梅田哲也 | 大阪市立大空小学校担当

日用品や廃材といった身近なものや自然現象など、とりまく状況全般を素材とした体験型のインスタレーションやパフォーマンス作品を発表。国内外の美術館における展覧会のほか、都市空間や自然のなかでのサイトスペシフィックな作品も多く手掛ける。またBlurr (テルアビブ)、Theater Spektakel (チューリヒ)などのパフォーマンスのフェスティバルにも多数出演。2014年には、フィリピン山岳地帯の子どもたちのワークショップからパフォーマンスを創作するなど、現地の住人を巻き込んだコラボレーション作品も多い。近年の個展は「ホテルニュー恐山」Ota Fine Arts (シンガポール・2013年)、「Ota」Breaker Project (大阪・2014年)、「SCIENCE DE LA SUPERSTITION」Instants Chavires (モントルイユ・2015年)。
<http://www.siranami.com/>



PIKA☆ | 大阪市立堀江小学校担当

2002年「あふらんぼ」結成。ドラムヴォーカル担当。女性2人による奇抜かつ独特なロックスタイルで、瞬間に世界に旋風を巻き起こす。2010年バンド解散後本格的にソロ活動開始。ユニットやセッション等での共演者は国内外多岐にわたる。2011年に東日本大震災をきっかけに大阪からエネルギーを考える祭をつくる「TAIYO33OSAKA」プロジェクトを立ち上げ、1000人で太鼓を叩く「太陽大感謝祭」や各地でドラムワークショップを開催。また、全国の小学校などでもゲストティーチャーとして招かれ、ドラムの生演奏、図工を通じた音作り、アフリカ紀行講演など子どもたちの音作りにも力を入れている。実験的かつプリミティブな音を追求する。

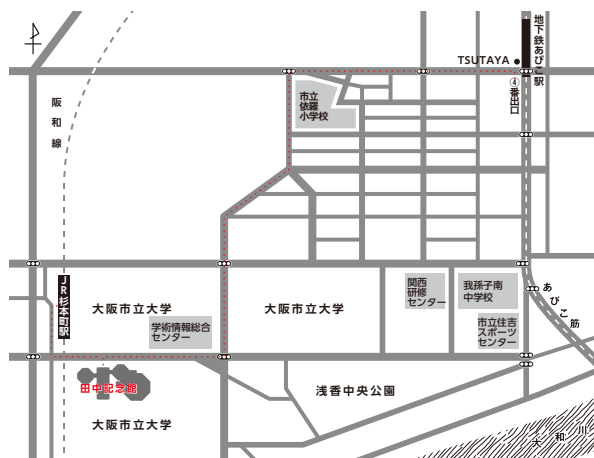
<http://pineco.pw>

問い合わせ

NPO cobon タチョナプロジェクト(担当:コジマ)
〒550-0006 大阪市西区江之子島 2-1-34
江之子島文化芸術創造センター内2F
Tel : 070-5650-5744
FAX : 06-6441-8140
<http://touchonart.net/>

会場までのアクセス

JR 阪和線杉本町(大阪市立大学前)駅から徒歩 5分
地下鉄御堂筋線あびこ駅 4番出口から徒歩 20分
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学中記念館



主催: 大阪市立大学
共催: NPO 法人 cobon タチョナプロジェクト
助成: 平成 27 年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
協力: 大阪市立大空小学校、大阪市立堀江小学校

社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業「アートの活用形?」

2014 年度より文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」に採択され、大阪市立大学が推進するアートマネジメントの人材育成事業です。本事業は、21 世紀になって加速化する経済格差や少子高齢化、甚大な自然災害、貧困、病といった社会的課題と向かい合い、アートを媒介として創造的に克服、解決への道筋を見出していくことを目的としています。プログラムは講座、ゼミ、プロジェクト実践の3つのコースから構成され、プロジェクト実践においては、教育、福祉、医療、まちづくりの現場で活動する NPO などと連携して実施。アートを通して公共性豊かな社会を共に開拓していく場でもあります。

NPOcobon タチョナプロジェクト

「touch on art (タチョナ)」は子どもたちがアートに触れて体感する芸術体験プログラム。2011 年に大阪市内公立小学校での「大阪市芸術体験授業」を実施したのを皮切りに、現在まで京阪神地域を中心に、小中学校はもとより、アート・センターや地域の施設でアート・ワークショッププログラムを展開しています。現在、NPO cobon(旧 NPO こども盆栽)のプロジェクトとして運営されています。

この事業は、平成 27 年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の助成を受けて大阪市立大学が行う社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業「アートの活用形?」の一環で実施するものです。

